

新型コロナウイルス感染症 対策について

2020年9月18日現在

「美術館は心の病院」

猪熊弦一郎は当館のあるべき姿として「美術館は心の病院」という言葉を残しました。人々が気軽に立ち寄り、美しい空間でいい作品を見て、新鮮な刺激を受けて心が元気になる場所であることが美術館の役割であると考えます。1日も早く開かれた場所として通常開館ができるよう、以下の新型コロナウイルス感染症対策を講じております。皆様におかれましても、ご協力のほどお願いします。

当館の対策

- ・スタッフは毎朝、検温・体調確認を行い、体調不良の場合は勤務いたしません。
- ・スタッフはマスクを着用してお客様に対応いたします。
- ・受付等の対面箇所に飛沫を遮断するスクリーンを設置いたします。
- ・定期的に館内において複数の方が触れる場所の消毒を行います。
- ・一度に多くのお客様が来館された場合には、入場制限を行う場合があります。
- ・ギャラリートークや講演会などは当面の間、中止いたします。

お客様へのお願い

ご来館前に

- ・熱がある方、体調不良の方はご来館をご遠慮ください。
- ・過去2週間以内に発熱等の症状のある方はご来館をご遠慮ください。
- ・団体でのご来館の際はあらかじめご相談ください。

ご来館時に

- ・ご入館時、入口のアルコール消毒剤にて手指の消毒をしてください。
- ・ご入館時、サーモグラフィーカメラによる検温を実施します。発熱や風邪症状のある方のご入館はご遠慮いただきます。
- ・館内では、マスクの着用をお願いいたします。
- ・咳エチケット、手洗いなどのご協力をお願いいたします。
- ・館内では、他のお客様や当館スタッフとの距離を1mほど確保していただきますようお願いいたします。